

障害者雇用分科会における 2019 年度目標の中間評価について（案）

2019 年度の目標として障害者雇用分科会において設定した年度目標について、当該分科会が実施した中間的な評価の結果は、概ね以下のとおりである。

※ 中間評価は 2020 年 1 月時点で把握できる直近の各種指標（概ね 2019 年 4 月～12 月頃の数値）に基づいて行った。

（障害者雇用分科会において設定された年度目標の動向）

○ ハローワークにおける障害者の就職件数について

〔2019 年度目標〕 前年度（102,318 件）以上

〔2019 年 4 月～12 月実績〕 80,396 件

（分析）

障害者の就職件数は、企業における障害者雇用への理解が進んでいること、就職を希望している障害者が増加していること及び求職者向けチーム支援の実績が伸びていること等により、前年同期（80,043 件）を上回る実績となっており、2019 年度の目標水準を上回ることが期待できる。

引き続き、ハローワークが中心となり、福祉、教育、医療等の関係機関と連携して求職者向けチーム支援を推進すること等により、求職者の障害特性に応じたきめ細かな職業相談・職業紹介を実施していく。

○ 障害者の雇用率達成企業割合について

〔2019 年度目標〕 前年度実績（48.0%）と比較して 1.4pt 以上上昇

（分析）

民間企業における障害者の雇用状況については 16 年連続で過去最高を更新するなど、民間企業における障害者雇用は着実に進展している。一方で、障害者雇用ゼロ企業は約 3 割あることから、こうした企業も含めた未達成企業に対して、採用の準備段階から採用後の職場定着まで一貫したチーム支援、就職面接会や集団指導、職場実習の実施に向けた面接会等を積極的に実施し、改善を図ることとしている。

なお、2019 年 6 月 1 日現在の障害者雇用率達成企業の割合は 48.0%であり、前年から 2.1 ポイント上昇し、2018 年度目標（1.5pt 以上）を上回った。

- 精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者のうち、就職実現に向けた次の段階へ移行した者の割合について

〔2019年度目標〕	74.3%以上
〔2019年4月～12月実績〕	77.7%（前年同期実績75.1%）

（分析）

2019年4月～12月までの実績は、目標値を超える77.7%となっており、年度目標の達成に向けて、好調に推移している。精神障害のある求職者は年々増加しており、就職に対するニーズは高まっている。引き続き、求職者に対するカウンセリングに加え、事業主に対しても、障害特性の理解の促進や、マッチングの促進に向けた事業所訪問等の受入体制の整備を通じ、精神障害者等の雇用に係る課題解決のための支援を実施することとする。